

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E142J023		西洋美術史 (Western Art History)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	3	教育学部			氏名 田中 修二 E-mail tnkshj@oita-u.ac.jp 内線 7596											
授業の概要	「西洋」という地域とその歴史・社会的背景、また「美術」という概念の成立についてつねに確認しつつ、古代ギリシャ・ローマ時代から20世紀及び現在に至る西洋美術史の流れを概観する。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 西洋美術史の大きな流れを説明できる																	
目標2 各時代の著名な芸術家と代表的な作品について紹介できる																	
目標3 美術のさまざまな分野・技法について説明できる																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	はじめに 「西洋」とはなにか																
2	ギリシャ																
3	ローマ																
4	初期中世																
5	ロマネスクとゴシック																
6	初期ルネサンス																
7	盛期ルネサンス																
8	マニエリスム																
9	バロック																
10	ロココ																
11	新古典主義																
12	ロマン主義																
13	19世紀後半：印象派など																
14	20世紀前半：キュビズムなど																
15	20世紀後半：抽象表現主義など																
ラーニング	A:知識の定着・確認	グループでの話し合い。事前に調べてきたことについての口頭発表。展覧会見学等の教室外での活動。														工夫	その他の
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備	配付資料、参考文献等をもとに必要に応じて予習する(15h)。															
	事後	授業で学んだ事柄について、各自でさらに調査・考察を進め、知識を深めていく(15h)。															
教科書	授業中に配布するプリントを使用する。																
参考書	授業中に指示する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	口頭発表・小レポート等	30%															
	期末試験、またはレポート	70%															
注意事項	授業ではある作品についての「ディスクリプション」(作品の形や構図・色彩などについての文章による詳細な記述)や、特定の作家や作品について事前に調べた上での発表などを行ってもらうことがある。休日等に美術館見学を実施することがある。																
備考																	
リンク																	
	URL																